



祭りと信仰

生業・営みのなかで生まれた神仏への祈りと信仰は、寺社や石仏・石塔、祭り・行事、民間説話などのさまざまな形で、現在の私たちの暮らしに息づいています。

それらは、地域の歴史文化の成り立ちを伝え、歴史文化遺産をより一層魅力的なものとし、私たちの地域に対する誇りや愛着の源となっています。また、人と人との絆を育み、豊かな地域コミュニティをつくり出し、生き生きとしたまちをつくる原動力になると同時に、人々の地域の空間・環境に対する認識や、自然との良好な関わりのあるあり方を伝える前近代的な知として、現代社会を生きる私たちに多くの教訓を与える重要な役割も担っています。

■原始・古代の信仰

弥生～古墳時代の西治下代ノ下モ遺跡では祭祀に関わる土坑と土器、南田原長目遺跡では祭祀用の土器に加え、祭祀に使われたと思われる分銅形土製品も見つかっています。また、奈良時代の八千種庄文治遺跡出土の齋串（木の枝や薄い板などを串状に作ったもの）や福井谷遺跡の土馬（土製の馬）なども祭祀に使われたと思われる。

奈良時代の地誌『播磨国風土記』の神前郡条冒頭には、建石敷命が神前山に鎮座したことから、神前郡と名付けたことが記されています。現在も、神前山には建石敷命の依代とされる磐座（巨石）があり、麓の二之宮神社は建石敷命を祭神の一つとしています。



分銅形土製品（南田原長目遺跡）
土馬（福井谷遺跡）

神前郡。右、神前と号する所以は、伊和大神の子建石敷命、山使村の神前山に在しき。乃ち、神在せるに因りて名とす。故、神前郡と曰ふ。
（『播磨国風土記』神前郡条）

■仏教

6世紀中頃に仏教が伝わると、権威の象徴は古墳から寺院へと移りました。町内では、福田無量寺跡（福田区）で瓦片が出土し、旧官衙の一部か小規模な寺院と考えられています。また、應聖寺（板坂区）には、県内でも最も古い仏像彫刻の一つである白鳳時代（7世紀後半）制作の銅造誕生釈迦仏立像が伝わります。また、福井谷遺跡（小倉区・庄区）では、8世紀後半制作とされる木製の仏像も出土しています。

古代開基の伝承をもつ寺院には、應聖寺のほか、作門寺（現金剛城寺：田口区）、日光寺（西大貫区）、神積寺（加治谷区）がありますが、町内の寺院の多くは中世後期から近世の開基です。神積寺には、60年に一度ご開帳される秘仏としても知られる木造薬師如来坐像、後堀河天皇の皇后安喜門院の供養塔の阿弥陀種子板碑など、多くの歴史文化遺産が伝わっています。なお、中世の播磨の地誌『峯相記』（貞和4年（1348））には、播磨天台六山の一つとして「妙徳寺」（神積寺）があげられています。



木製の仏像（福井谷遺跡）

■民間説話と信仰

『播磨国風土記』の地名説話や小字地名の由来、各寺社の寺伝・社伝をはじめ、「北野の文殊」や西光寺野のキツネ、さらには、柳田國男が『故郷七十年』にも記した河童のガタロや神隠し、千束など、数多くの民間説話が語り継がれています。

これらは、信仰や昔の人々の暮らしぶりを伝えると同時に、危険な場所など、地域の人々が伝えてきた空間認識を知ることができる重要な手がかりとなります。

辻川あたりでは河童はガタロというが、随分いたずらをするものであった。子供のころに、市川で泳いでいるとお尻をぬかれるという話がよくあった。それが河童の特長なわけで、私らの子供仲間でもその犠牲になったものが多かった。毎夏一人ぐらいは、尻を抜かれて水死した話を耳にしたものである。
（柳田國男『故郷七十年』駒ヶ岩の河太郎、『柳田國男全集』第21巻（1997.11、筑摩書房））

□福崎町の民間説話を伝える資料

- 『福崎ものがたり』（福崎町立図書館応援隊）
- 『かたりべ』（福崎町かたりべ会）
- 各自治会が作成した地域史誌 など

■祭り・行事

豊かな自然に恵まれた福崎では、主として農業が営まれ、豊作の祈願や感謝などを中心に、健康や安全などを祈る祭り・行事が数多く行われています。かつては講なども組織されていましたが、都市化の波のなかで、失われたものも少なくありません。柳田國男の『故郷七十年』からは、柳田が体験した明治10年代の田原村辻川を中心とする民俗文化を、また、『福崎村風俗調査書』からは、明治末年から大正初年頃の福崎村の年中行事、婚姻や出産などの人生儀礼、民間信仰などを知ることができます。

現在も、トンドや初午、地藏盆などの行事は多くの自治会で受け継がれ、特に鍛冶屋区のかくしほちよじは、古式の行事が形態をあまり変えずに継承されています。また、秋祭りの屋台奉納や浄舞、獅子舞、神積寺の追儼（鬼追い）などの播磨地域の特色を反映した民俗芸能や、およそ300年の歴史をもつ神仏習合の伝統行事である一之宮神社大般若転読会（應聖寺）も伝わります。

■播州秋祭り

毎年10月、収穫に感謝し、翌年の豊作を祈願する秋祭りが催されます。播磨地域の秋祭りは、多くの屋台が練り出す「播州秋祭り」として知られ、福崎町でも各自治会の屋台が町内4つの神社に集まり、盛大に行われます。福崎町は、その地理的特徴から、山手に多い布団屋根型屋台と、浜手に多い神輿屋根型屋台の両方が見られるという特徴があります。屋台奉納、屋台練りに加え、田原地区と八千種地区（旧八千種村の区域）では浄舞、福崎地区の桜区では獅子舞が奉納されます。

■信仰を伝える歴史文化遺産

寺社や惣堂等、地藏、石仏をはじめ、現在に残る玉垣や狛犬、絵馬などの奉納品など、人々の神仏への篤い信仰を知ることができる歴史文化遺産が町内各所に受け継がれています。

奉納品の奉納者名からは、本町の歴史を感じることができます。また、廣田神社のアカエイ絵馬など、地域の特徴的な信仰を伝えるものも見られます。

■関係する主な歴史文化遺産

項目	田原地区	八千種地区	福崎地区
祭り・行事・民俗芸能	<ul style="list-style-type: none"> 秋祭り 浄舞（熊野神社）【町指定】 追儼（鬼追い）（神積寺）【町指定】 虫送り（大門） 川福祭り（中島） トンド、初午、地藏盆 など 	<ul style="list-style-type: none"> 秋祭り 浄舞（余田大歳神社）【町指定】 かくしほちよじ（鍛冶屋）【県指定】 夏祭りの百膳（南大貫） 虫送り（鍛冶屋） トンド、初午、地藏盆 など 	<ul style="list-style-type: none"> 秋祭り 獅子舞（桜）【町指定】 法成就講（高橋）【町指定】 虫送り（山崎、高橋） 採燈大護摩・鬼舞、大般若転読会（應聖寺） トンド、初午、地藏盆 など
寺社・惣堂・石塔等	<ul style="list-style-type: none"> 郷社熊野神社などの地区内の神社 神積寺などの地区内の寺院 石造五重塔（伝慶芳上人墓）【県指定】 阿弥陀種子板碑（神積寺）【県指定】 	<ul style="list-style-type: none"> 郷社余田大歳神社や南大貫大年神社などの地区内の神社 大善寺や常住寺などの地区内の寺院 	<ul style="list-style-type: none"> 二之宮神社などの地区内の神社 應聖寺や金剛城寺などの地区内の寺院 阿弥陀堂【町指定】 庚申塔【町指定】
仏像・神像や祭具、祭祀に関する遺構・遺物	<ul style="list-style-type: none"> 木造薬師如来坐像（神積寺）【国指定】 木造阿弥陀如来坐像（神積寺）【町指定】 木造文殊菩薩坐像（神積寺）【町指定】 石造五如来坐像【町指定】 各自治会の屋台 南田原長目遺跡と出土遺物 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会の屋台 西大貫の神輿 八千種庄文治遺跡や福井谷遺跡と出土遺物 	<ul style="list-style-type: none"> 銅造誕生釈迦仏立像（應聖寺）【町指定】 各自治会の屋台 西治下代ノ下モ遺跡と出土遺物 福田無量寺跡
民間説話とその対象	<ul style="list-style-type: none"> 北野の文殊 河童のガタロ 西光寺野のキツネ 駒ヶ岩と神馬のひづめ伝説 鳥居林 	<ul style="list-style-type: none"> 八千種の地名由来「八千軍野」 	<ul style="list-style-type: none"> 七種山、神前山、磐座 千束の地名由来 西正寺の法蔵菩薩の掛軸伝承 ほりあげ地藏 いぼとり地藏尊

□現在に伝わる主な祭り・行事

月日	名称	開催場所
1月 成人の日頃	トンド ・かくしほちよじ ・法成就講 追儼（鬼追い）	町内各地 鍛冶屋区 高橋区 神積寺
2月 1日 第1日曜日 10日～11日 最初の午の日	一之宮神社大般若転読会（春） 採燈大護摩・鬼舞 えびすまつり 初午	一之宮神社 應聖寺 恵美須神社 町内各地
3月 春分の日	文殊会式	神積寺
5月 8日頃	花まつり	町内各地
7月 中旬頃 下旬頃	夏まつり ・川福祭り ・百膳 虫送り	町内各地 中島区 南大貫区 大門区 鍛冶屋区 山崎区 高橋区
8月 24日頃	地藏盆	町内各地
9月 1日	一之宮神社大般若転読会（秋）	一之宮神社
10月 月上旬	秋祭り	町内各地

□福崎町の秋祭り

地区	神社	屋台		備考
		布団屋根	神輿屋根	
田原地区	熊野神社（田尻区）	10台	2台	浄舞、浦安の舞 御輿渡御
八千種地区（旧大貫村）	大年神社（南大貫区）	3台	—	浦安の舞
八千種地区（旧八千種村）	大歳神社（余田区）	4台	—	浄舞、御輿渡御
福崎地区	二之宮神社（山崎区）	6台	7台	獅子舞（桜区）



布団屋根型屋台 神輿屋根型屋台 浄舞

【主な成立時期】原始・古代～近代



木造薬師如来坐像（神積寺）



神前山の磐座



かくしほちよじ

